

民と官の連携による公共サービス改革検討委員会議事録
(平成21年度第5回目)

- 1 開催日時 平成21年9月2日(水) 午後2時 ~ 午後4時
 2 開催場所 富士見市役所 2階 市長公室
 3 出欠状況

阿部委員	市川委員	伊藤委員	河村委員	福嶋委員	船生委員
欠					欠
事務局 (政策財務課)	総合政策部長、政策財務課長、同課主査、同課主査、同課主任				

- 4 議 題 (1) 事業仕分けの結果報告について
 (2) 補助金の見直しについて
 (3) その他

5 議事内容

<p>1 開会 2 委員長あいさつ 3 議事 (1) 事業仕分けの結果報告について 【資料】・富士見市事業仕分け評価結果<速報> 事務局：資料に基づき、7月18・19日に実施した事業仕分けの評価結果について説明 (概要) ・市民判定人出席者 58人 ・傍聴者 255人 ・事業仕分け結果(市民判定人评价結果) 不要11件/民間化2件/国・県実施2件/市(改善)25件/市(継続)5件 委員長：市の方針が出ているわけではないので、中身が良い悪いの議論ではなく、この結果について質問はありますか。 委 員：速報は既に公表しているか。 事務局：7月下旬に総括表を市のホームページに掲載しました。 委 員：どういう議論でこのような結果になったのかを明らかにするために、個別の評価結果についても公表した方がよいのでは。 事務局：市の方針が明確になった時点で、総括表以外の部分についても公表したいと考えている。 委 員：市の方針に時間がかかるようであれば、事業仕分けの評価結果を速やかに公表してもよいのでは。 委 員：事業仕分けを市の方針で行った以上、評価結果に対する市の方針を明確にすることは当然として、成果を出すよう努めなければならないですね。 事務局：成果の考え方についてはいろいろなものがあると思いますが、市としては、</p>

今回の事業仕分けを契機に担当課職員の意識改革を図りたいと考えているので、担当課職員の意見を聞き、市の方針を明確にした後に公表したいと考えている。

委員長：事業仕分けの結果を契機に職員が考えることも大事であるが、市民が考えることも大事である。今の公表内容だけでは、市民が考えることができないのでは。

事務局：公表しないというわけではなく、市の方針を明確にした上で行いたいと考えています。

委員長：市の方針が明確になる前だからこそ、市民は考え、意見を述べることができるのでは。重要なことは、市が最終決定を出すまでに市民の意見をどのように取り入れるかということではないでしょうか。

事務局：そのとおりであると思いますが、市の立場としては、疑問の生じるような状態で公表するよりは、正確な状態で公表すべきと考えています。

委員長：委員会としては、調査表の速やかな公表をすべきであると提言したいと思いますが、委員の皆さんはどのように考えますか。

事務局：再度調整したいと思います。

(2) 補助金の見直しについて

【資料】・今後の見直し方法について(事務局案)

事務局：制度的補助を事業仕分けにより行うか否かについて説明

(概要)

補助金の見直しは、公平性・公正性がより求められると考えるので、委員会による統一認識に基づき見直しを行いたい。

委員長：このことについて、何かご意見、ご質問がありますか。

事務局：仮に、この委員会で制度的補助を事業仕分けするとなった場合には、この委員会が直接行うのか、それとも構想日本に依頼して行うこととなるのか、どちらになりますか。

委員長：委員会が直接ということは考えていない。基本的には、コーディネーターを委員会の委員又は有識者などが行い、仕分け人は構想日本のメンバー、そして市民判定人で事業仕分けを行うというイメージになるのではと思います。

委員長：いろいろな意見がありますが、事業仕分けに関する事務が委員会の担当事務となっている以上、制度的な補助金を事業仕分けで行うかどうかを議論する前に、事業仕分けについて今後市はどのように考えていくのかといった点を確認してほしいと思います。

事務局：次回までに回答します。

委員：市の結論を出すに当たっては、実施した事業仕分けをどう総括して、今後どのように考えるのかといった点がわかるように整理する必要があると思います。

(3) その他

- ・第7回の開催日時を次のように決定
第7回 11月11日(水)午後3時から
- ・次回の会議までに事務局で用意する資料について確認
 - ・事業仕分けにおける傍聴者のアンケート

4 閉会